

【概要版】

飯南町教育環境基本方針（答申）

飯南町教育環境基本方針検討委員会

令和6年2月

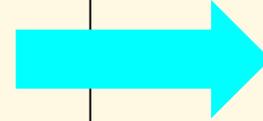
1. 飯南町のまちづくりと教育方針

(答申1ページ)



○飯南町総合振興計画

- ①自治・協働
- ②教育・文化・子育て
- ③産業
- ④保健・医療・介護福祉
- ⑤生活環境
- ⑥自然環境



- ①子育てしやすい環境づくり
- ②保小中高が連携した学校教育の充実
- ③地域で育む教育環境づくり
- ④生涯学習の充実
- ⑤平等に暮らせる社会づくり

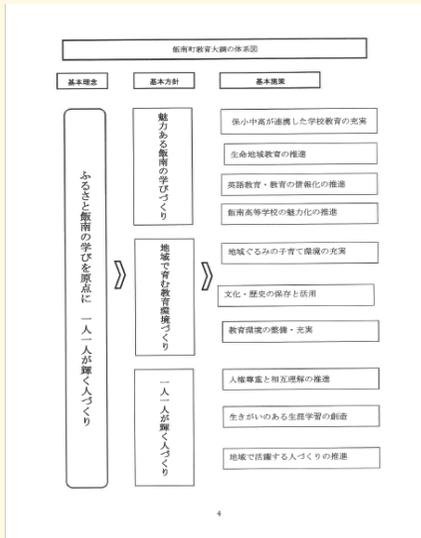
○飯南町教育大綱 (R3年3月)

基本理念

「ふるさと飯南の学びを原点に一人ひとりが輝く人づくり」

基本方針

- ①魅力ある飯南の学びづくり
- ②地域で育む教育環境づくり
- ③一人ひとりが輝く人づくり

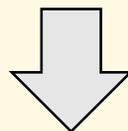


2. 教育環境基本方針策定の趣旨

(答申1ページ)

現状 様々な施策の展開はするものの 人口減少と少子化に歯止めがかからない

課題 近年 町内で年間に生まれてくる子どもの数 **25** 人前後で推移
(**20** 人を下回る年も)



今後の飯南町に**ふさわしい教育環境**について検討し、方針を定める

令和4年度に検討委員会を立ち上げ、2年間で方針を策定

令和4年度・・・4回の検討委員会、1回の学校訪問視察

令和5年度・・・6回の検討委員会

4地区での説明会を1回実施

2地区での説明会を1回実施

3. 飯南町の学校と地域における現状と課題

(各学校の児童・生徒数は住民基本台帳に基づき作成)

(1) 人口減少と少子化への対応 (答申2,3ページ)

小学校 令和2年度 206人 → 令和11年度 151人 10年間で55人減少

中学校 令和2年度 104人 → 令和11年度 75人 10年間で29人減少

(小学校)

学校名	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
頓原小学校	62	61	57	57	53	49	48	47	52	47
志々小学校	16	13	15	14	15	15	13	12	11	14
赤名小学校	78	64	59	59	52	50	41	49	49	45
来島小学校	50	46	52	42	46	43	45	47	42	45
計	206	184	183	172	166	157	147	155	154	151

10年間で55人

(中学校)

学校名	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
頓原中学校	46	55	38	40	35	38	40	40	34	32
赤来中学校	58	68	67	65	65	61	59	43	48	43
計	104	123	105	105	100	99	99	83	82	75

10年間で29人

3. 飯南町の学校と地域における現状と課題

(2) 児童・生徒数の推移がもたらす現状と課題 (答申3,4ページ)

国の基準

学校教育法施行規則第41条

「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。」

飯南町

国の基準に合わせることは不可能であり、弾力的に学級を設置。

○小学校の今後の学級数の見込み (R5-R11)

※特別支援学級数は除く

学校名	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
頓原小学校	6	5	5	5	4	5	5
志々小学校	3	3	3	3	3	3	3
赤名小学校	5	5	5	5	5	5	4
来島小学校	4	4	4	5	4	5	4
計	18	17	17	18	16	18	16

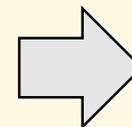
3. 飯南町の学校と地域における現状と課題

(2) 児童・生徒数の推移がもたらす現状と課題

① 単式学級と複式学級 (答申4,5ページ)

島根県複式学級
指導の手引き

1・2年生は 8人以下
3・4年生と5・6年生 16人以下



複式学級

令和5年度	複式学級
志々小学校	3・4年生
	5・6年生
来島小学校	3・4年生
	5・6年生
赤名小学校	3・4年生
計	5学級

令和6年度	複式学級
頓原小学校	3・4年生
志々小学校	3・4年生
	5・6年生
来島小学校	3・4年生
	5・6年生
赤名小学校	3・4年生
計	6学級

小学校の今後の複式学級数の見込み (R5-R11)

学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
頓原小学校	0	1	1	1	2	1	1
志々小学校	2	2	2	2	2	2	3
赤名小学校	1	1	1	1	1	1	2
来島小学校	2	2	2	1	2	1	2
計	5	6	6	5	7	5	8

令和6年度

→町内すべての小学校で複式学級が編成される

児童数が極端に少ない学年があると

単式学級→複式学級

複式学級→単式学級 を繰り返す場合がある

3. 飯南町の学校と地域における現状と課題

(2) 児童・生徒数の推移がもたらす現状と課題

② 極小規模校の課題 (答申5ページ)

全校児童15人未満かつ3学級以下となる場合



教職員定数配置基準による教職員定数が1人減



【極小規模校となった場合】

教頭が学級担任をするか教頭無配置校に

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
志々小学校	第1学年	2(1)	4	2	0	5	1	2	2	1	3
	第2学年	1(1)	2(1)	3	2	0	5	1	2	2	1
	第3学年	4	1(1)	3(1)	3	2	0	5	1	2	2
	第4学年	0	4	1(1)	3(1)	3	2	0	5	1	2
	第5学年	0	0	4	1	3(1)	3	2	0	5	1
	第6学年	6(1)	0	0	4	1	3(1)	3	2	0	5
	通常学級児童数	13	11	13	13	14	14	13	12	11	14
	特別支援学級児童数	3	2	2	1	1	1	0	0	0	0
	児童数合計	16	13	15	14	15	15	13	12	11	14
	通常学級	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3
特別支援学級	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	
学級数	5	4	5	4	4	4	3	3	3	3	

志々小学校が令和8年度から極小規模校となる可能性

3. 飯南町の学校と地域における現状と課題

(2) 児童・生徒数の推移がもたらす現状と課題

③ 学校部活動の維持 (答申5ページ)

部員数の不足から、他校との合同チームで大会に出場せざるを得ない部活動の存在
部活動の地域移行に対応できる地域指導者の確保など新たな課題

④ 飯南高校の状況 (答申6ページ)

飯南高校入学生内訳 (H29-R5)

中学校別 入学生	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
町内	34	21	23	26	18	36	23
県内	22	27	26	15	42	21	33
県外	6	7	10	10	9	6	6
計	62	55	59	51	69	63	62

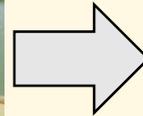
3. 飯南町の学校と地域における現状と課題

(3) 学校・家庭・地域のつながり (答申6ページ)

公民館がコーディネートし学校と地域をつなげたふるさと教育の実践



高校生の地域活動



こうした取り組みをさらに継続的・体系的に連携できる仕組みになるために

学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)
の導入

4. 飯南町ならではの魅力ある教育

(1) 保小中高一貫教育を柱とした教育 (答申7,8ページ)

①保小中高が連携した学校教育の充実

- ・飯南町で育てたい資質能力を共有

②ふるさと教育・生命地域教育の推進

- ・地域と連携した教育の実践、ふるさとシンポジウム

③教育の情報化の推進

- ・ICTを活用した教育の効率化、共有化

④飯南高校の魅力化

- ・魅力化CO、学校経営補佐官の配置～町と連携

⑤飯南町学習支援館

- ・町営の学習塾を開設し、子どもたちの学びを支援



飯南町ふるさとシンポジウム



飯南町キャリア・パスポート



飯南町学習支援館



教育の情報化の推進

4. 飯南町ならではの魅力ある教育

(2) 地域ぐるみの子育て環境の充実 (答申8,9ページ)

①定住対策と子育て環境

- ・住宅確保など定住支援策の充実、子育て世代への支援

②個々に応じた切れ目ない支援

- ・教育部局、保健福祉部局が連携した相談支援体制

③学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の推進

(令和5年度モデル校…志々小学校、赤来中学校)

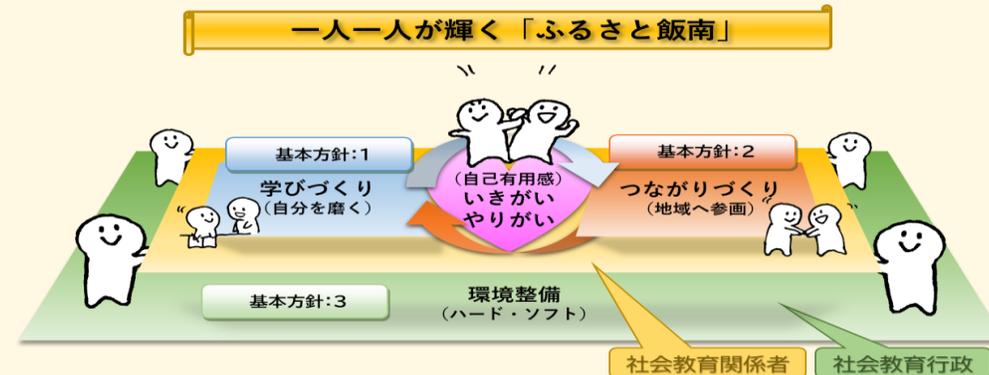


飯南町相談ネット事業

(3) 一人ひとりが輝く人づくり

①生きがいのある生涯学習の創出

②町立図書館の充実



飯南町社会教育推進計画

5. これからの飯南町にふさわしい教育環境

(答申9,10ページ)

○保小中高一貫教育

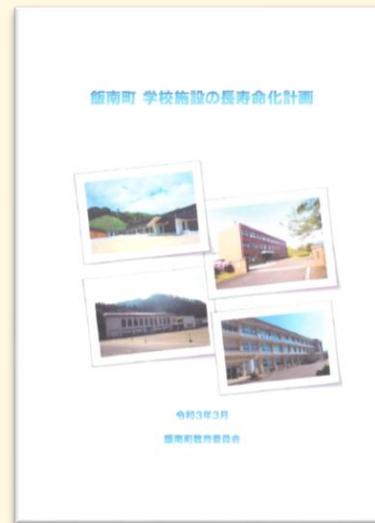
- ・小規模な町だからこそできる保小中高一貫教育は強み

○学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくり

- ・地域との結びつきが強い飯南町の学校
→ 学校運営協議会により更に推進

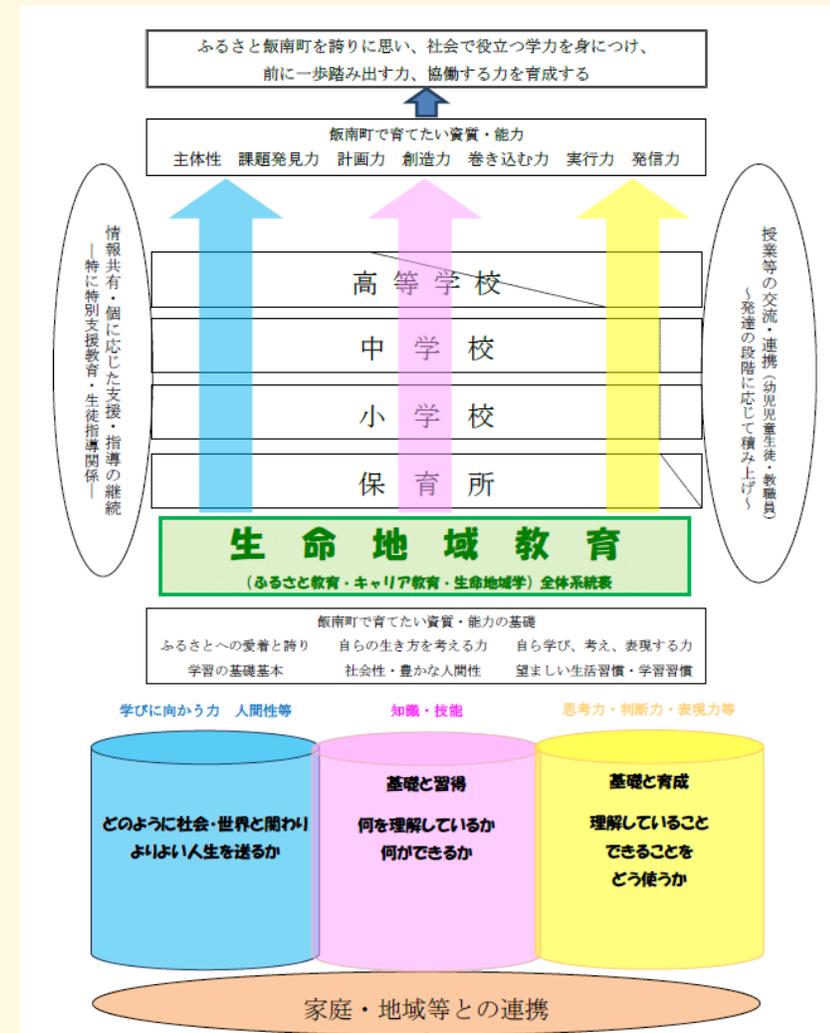
○充実した教育環境の整備

- ・学校施設の老朽化が課題
- ・児童生徒の安心安全で快適な教育環境維持のため整備の必要性



飯南町学校施設の長寿命化計画

飯南町保小中高一貫教育イメージ図

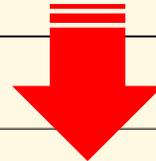


6. 飯南町における小中学校の規模と配置の方針

(1) 適正規模に向けた理念 (答申11ページ)

「小さな町だからこそできる魅力ある教育」を強みに

- 保小中高一貫教育、ICTの活用
(保小→小中→中高の接続・連携をより一層強化)
- 学校・家庭・地域が一体となった教育環境
- 中学校段階では多くの集団の中で多様な考え方を育む



◎小学校

「地域ぐるみで育てる教育環境」

◎中学校

「学校集団で育てる教育環境」 が望ましい

6. 飯南町における小中学校の規模と配置の方針

(2) 小学校の適正規模 (答申11ページ)

- ・ふるさと教育やきめ細かな少人数指導体制
- ・地域とともに健やかに成長できる教育環境



○「地域ぐるみで育てる教育環境」を本町の小学校の適正規模の理念とし、可能なかぎり小学校を存続する。

○ただし、全校児童数15人未満かつ3学級以下となる場合が一定期間続く小学校は、再編も含め、その在り方を検討する。

○なお、再編を検討する場合は、地域の実情や施設の状況を十分配慮して検討する。

6. 飯南町における小中学校の規模と配置の方針

(3) 中学校の適正規模 (答申12ページ)

- ・教科担任制であることや部活動など集団としての学校活動による人格形成
- ・多くの生徒数での集団学校活動



- 「学校集団で育てる教育環境」を本町の中学校の適正規模の理念とし、学校集団による人格形成と、中高の連携を考慮しつつ再編を検討する。
- なお、再編を検討する場合は、地域の実情や施設の状況を十分配慮して検討する。
- 再編する場合は、保小中高一貫教育など飯南町ならではの魅力ある教育をより一層強化できるような場所を検討する。

今後の教育環境についてのイメージ図

4 小学校…可能なかぎり存続
“地域ぐるみで育てる”

2 中学校…再編を検討
“学校集団で育てる”

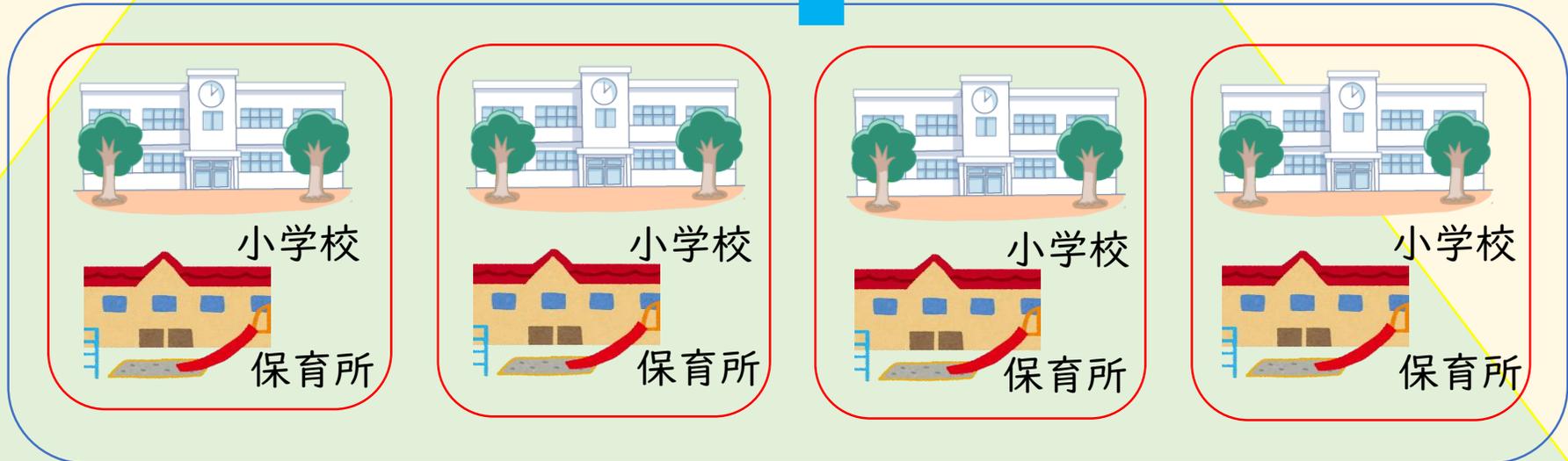
学校集団で育てる

地域ぐるみ
で育てる



保小中高一貫教育
より一層強化

飯南町ならではの魅力ある教育を



保小中高一貫教育
のさらなる充実

6. 飯南町における小中学校の規模と配置の方針

(4) 小・中学校の適正配置 (答申12ページ)

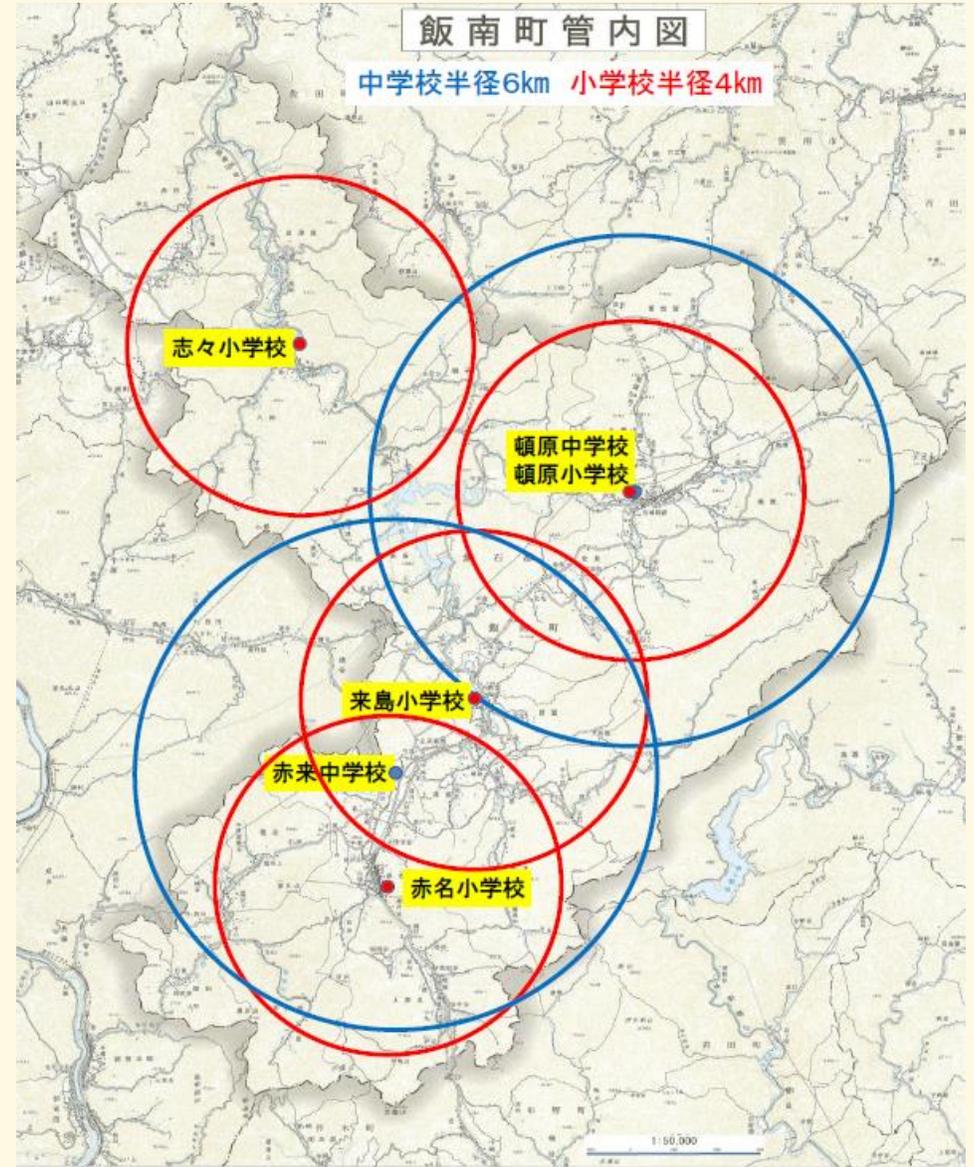
国の基準

小学校で概ね4km以内、中学校では概ね6km以内

飯南町

通学条件は徒歩や自転車を基本としているが、「飯南町スクールバス管理運営条例及び規則」に基づきスクールバスの運行

- 通学時間は、小中学校ともに、片道概ね1時間以内を基本とする。
- 特に遠距離通学の場合は、交通手段の確保と支援策を検討する。



7. 残された課題と今後の計画

(答申13ページ)

今後、「基本計画」「実施計画」の策定にあたり配慮すべきこと

- ①再編を検討する場合は、子どもたちに生じる環境の変化に配慮
- ②学校・家庭・地域が連携した特色ある教育の継続
- ③遠距離通学の負担軽減と適切な通学支援
- ④再編後の学校施設の有効活用の検討
- ⑤保小中校一貫教育の充実強化のための調査研究

○本答申をもとに、飯南町各地、子どもも大人も参画した議論がなされ、飯南町にふさわしい教育環境がつくられることに期待